

株主との対話

●方針

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するためには、株主を含めたあらゆるステークホルダーとの対話が不可欠であると捉え、企業理念の実現に向けた「行動指針」として“対話”を明文化して掲げています。株主からの建設的な対話の申込みについては、IR を担当する取締役を中心に経営陣幹部が、合理的な範囲で対応することを基本としています。

●体制

- ・当社は、株主との建設的な対話を促進するための体制整備・取組みとして、IR・広報本部を設置し、同本部担当取締役がこれを統括しています。
- ・この統括の下、事業推進本部、法務部、経理本部等が日常的に連携し、情報共有と課題解決に努め、株主との対話の効果を一層高めるための有機的な体制を構築し、運用しています。
- ・この体制を活かし、定期的に株主判明調査を実施することで株主構成の把握に努めながら、株主・機関投資家等との個別ミーティング、取締役および執行役員による決算説明会・中期経営計画説明会、サステナビリティ説明会などを通じて率直な意見交換を実施するとともに、技術戦略セミナー等の適宜開催、IR 資料の内容の充実や当社ウェブサイトでの公表など、多様な対話手段を講じています。
- ・その結果等は、担当取締役を通じて取締役会に報告され、経営の意思決定に活用するとともに、株主を含むステークホルダーとのさらなる建設的な対話の促進につなげています。

●ディスクロージャーポリシー

当社は、株主・投資家の皆様に対して「ディスクロージャーポリシー」を公表し、透明性・公平性・継続性を基本に、関連法令および東京証券取引所の「適時開示規則」に従い、適時適切に会社情報の開示を行うとともに、これに加えて、当社への理解を得ていただく上で必要または有用と思われる情報についても、迅速かつ積極的に、情報開示を行っています。

[ディスクロージャーポリシー](#)

●対話の状況

当社は、2024 年 11 月および 2025 年 5 月に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催したほか、2024 年 7 月には事業戦略説明会 (IR-Day) を開催しました。また、2024 年 10 月にサステナビリティ説明会を開催しました。

このほか、社長によるスモールミーティングを年間 2 回、IR 担当者による個別ミーティングを年間約 190 回実施しました。なお、海外機関投資家との対話の機会も積極的に設けています

各種の説明会や、主要な機関投資家・株主との個別ミーティングにおいて、当社経営陣や IR の担当部門が、当社の中長期の事業戦略や財務戦略、非財務戦略などに関して積極的に対話し、その要点について取締役会で共有することで、資本コスト/株価を意識した「ROE10%、PBR1 倍超」という中長期目標の達成に向けた事業施策の意思決定に活かしています。

●資本コスト/株価を意識した経営の実現に向けた対応と情報開示

当社では、コーポレートガバナンス・コード原則 5-2 の実施にあたり、機関投資家や株主との対話等を通じて自社の資本コストを把握しつつ資本効率等の目標を提示し、その実現に向けた取組みを市場にわかりやすく伝える努力を重ねてきました。

そのような株主との建設的な対話を継続しさらに市場と向き合うことが、当社の企業価値および株主価値の向上に資すると考えています。

2023 年 2 月 9 日に公表した「DNP グループの経営の基本方針」や、同年 5 月 12 日に公表した「2023～2025 年度 中期経営計画」は、このような継続的な取組みを踏まえて策定したものとなっており、その計画の進捗について、定期的に説明会等の資料をアップデートしています。

[DNP グループの経営の基本方針](#)

[説明会・決算補足資料](#)

以 上